

愛媛県 今治市立近見小学校で出前授業

四国開発フェリー株式会社の長谷部英敏船長が「船長さんのお話」を披露

12月5日、愛媛県今治市立近見小学校で、全日本海員組合主催の出前授業を開催した。小学5年生の授業「総合的な学習の時間（今治市の産業・自慢できるところ）」の一環として児童26人が参加した。

はじめに、清水駿愛媛支部長が「私たちが住んでいる愛媛県今治市の産業の一つに造船業があります。今日はその造船所で造られた「船」が私たちの生活とどのように関わっており、どのような荷物を運んでいるのか、またその船を動かしている船員さんはどのような仕事をしているのかを知ってみたいと思います。船員さんの仕事は、とてもカッコいい仕事ですので今日の授業を聞いて興味をもってもらえればうれしいです」とあいさつした。

その後「船の役割と船員職業について」の授業に入り、教室の電子黒板を用いて▽船の種類▽貿易の観点から▽船・船員が私たちの生活を支えていることについて▽船員の仕事内容▽船員職業の魅力について一などクイズも交え詳細に説明した。

続いて「船長さんのお話」と題して、四国開発フェリー株式会社の長谷部英敏船長から▽船員を志したきっかけについて▽船長になるまでの経歴について▽現在乗船している「おれんじおおさか」の航路や船の大きさについて一など、児童と同じ愛媛県今治市出身であることを交え、講話を行った。

児童から船長への質疑応答では▽船を運航するうえで最も大切にしていることは何か▽航海中にクジラを見たことはあるか▽船は校舎と比べてどれくらいの大きさなのか▽船員になるための資格取得の難しさ▽船での食事でおいしかったメニューは何か▽最初から船長になれるのか▽航海中に風邪をひいたらどうなるのか一など、数多くの質問が寄せられ、児童は船長の話にくぎ付けとなるようすが見受けられた。

また、今治市立近見小学校の近隣には弓削商船高等専門学校や国立波方海上技術短期大学が所在していることから、船員を目指すためのルートとして併せて紹介した。

最後に清水駿愛媛支部長と長谷部英敏船長から児童全員に記念品を手渡し、参加者全員で記念撮影を行い終了した。

「海員だより」